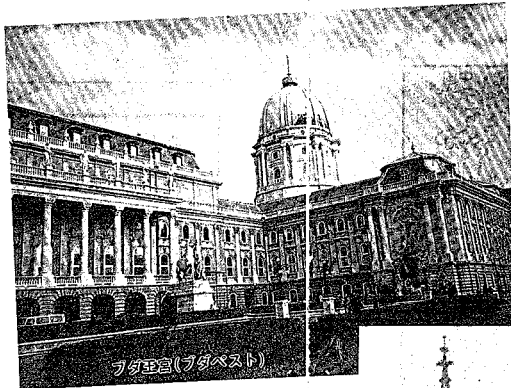




ブダペスト(ハンガリー)での研修生の皆さん



村田さん



ブダ王宮(ブダペスト)



渡辺さん

自然との共生を求めて 市民海外派遣研修報告③

「自然との共生」をテーマに市民の海外派遣研修が実施されました。スイス、オーストリア、ハンガリーを回った参加者のレポートをご紹介します。

美しい景観を支えているもの

渡辺 正基(秋葉3)

スイスの美しい自然やまちなみに魅了された。ただその美しさを形容するだけでは、研修にならないので、「自然との共生」というテーマで観点をいくつかしぼって報告したい。

環境保護について

- (1) 浄化の徹底
生活から出た雑排水などは全て第三次まで浄化され、飲料水として再生されている。日本では、とてもそこまで徹底されず、川や海にたれ流しているのが現状ではないだろうか。
- (2) ごみの有料化
資源の有効活用として、ごみを出さない努力をしている。具体的には、ごみを四種類に分けて出すことを義務付けているだけではなく、出したごみの量に

応じて回収時にお金を支払う制度もある。このため、買い物客は自分で買い物袋を用意するなどして、少しでもごみを減らすようにしている。また、牛乳もパック詰めからびん詰めへの見直しが進められている。

- (3) 公共の優先
交通手段を例にとると、公共の路面電車やバスが商用や私用の乗り物に優先して道路を走ることができ、省エネなどに貢献している。また、軌道のないバスもパンタグラフを利用して電化されていて、二面編成で走っているのには驚いた。公害の防止のためであろう。

景観の保護について

- (1) 伐木は許可制
まちな景観を保つために木は

建築基準について

スイスでは都市、郊外を問わず非常に備えて、すべての住宅にシェルター(地下室)の設置が義務付けられている。これは、非常時に避難用の防空壕としての役割を果たすとともに、日常では洗濯物を干したり、燃料などを貯蔵したりするのに使われている。また、多くの学校や病院、そして一部の高速道路にもシェルターが設置され、災害などに備えている。

このたびの視察で、スイスの美しい自然やまちなみなどの景観を支えているものが、何であるのかが理解できたことは大きな収穫であった。新津市がさらに魅力あるまちに発展するため、研修の成果を生かし貢献できれば幸いである。

『ドナウのバラ』ブダペスト

村田 美留子(金屋)

指折り数え、首を長くして待った海外研修もこの席を立ち、トラップを降りたら終わる。そう思ったとき私は、思わずハンガリー航空のステュワーデスに「あなたの国は美しい、そして私はあなたの国が恋しい」と憤れない英語で話しかけ、握手を求めたのです。

スイス、オーストリア、ハンガリーと三か国を回る私たちの研修は「瞬息が止まる」という言葉がぴったりの、美しさと驚きの連続でした。ともすると観光気分が浮かれそうになる自分の気持ちを落ち着かせるのに、随分努力が必要でした。

スイス、オーストリア両国では、現地に住む日本人ガイドさんがごみを含む環境問題などの質問に親切に答えてくれました。おそらくほかの研修生の方がそれを報告してくれると思い、私はハンガリーのブダペストのことをまとめてみることにしました。

どこかで見た ことのある風景

正直言って今回ハンガリーを訪れるまでは、面積が日本の四

分の一くらいの小さな国という知識しかありませんでした。しかし、一歩その国に足を踏み入れたとたん、とても身近なまちと感じたのは私一人だけではないかたでしょう。まちを流れるドナウ川、その近くのなだらかな丘。夜になるとそこに、ライトアップされたブダ王宮が浮かび上がります。まるで静かにまを眺めているかのよう。初めて訪れたまちなのに、どこか見たことのある、丸い塔のある風景。それは、我がまち「新津」だったのです。

旅行者の目で ふるさとを見る

何年か前にテレビで、夕暮れの能代川や秋葉山などが写し出されたことがありましたが、その時に画面で見た新津は、ブダペストに立つ旅行者である私の目に、今写っている風景と同じで、とき々は旅行者の目で、少し離れた気持ちで眺めてみてはどうでしょう。

春、桜の花が満開の秋葉山、夜になるとぼんぼりの明かりが美しい。

夏：私の住む新開地区の緑一面の田園風景、夜にはホテルが飛び交う。
秋：ススキやキリン草が土手いっぱいには揺れる能代川。
冬：遠くに五頭山を臨み静かに流れる阿賀野川、雪の降った日は黒絵の世界。
長年住み慣れているまちでは、感動することが少なくなりがちです。ときには旅行者の目で眺め、一人ひとりが自分の住んでいる所をゆつくり見直せば、ごみなどの問題は少なくとも思っています。

ブダペストのまちを詳しく調べてから訪れたのではありませう、たった一日の滞在でしたので、そこで生活している人たちが何を考え、自分のまちをどう思っているのかまでは知ることができませんでしたが、しかし、石造りの古い国会議事堂、漁夫の髯、ブダ王宮、ゲレントの丘などを訪れたことで、自分の住む新津市を見つ直すことができたのは大きな収穫だったと思います。

もし新津市を訪れた人が「あなたのまちは美しい、そして私はあなたのまちが恋しい」などと言ってくれたなら、「ドナウのバラ」ブダペストを訪れて私の思ったこと、それは「我がまち新津」。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

苺の季節

ビタミンCたっぷり粒ぞろいフレッシュな苺が今まさかデザーに、おみやげに、どうぞ!!



フルーツ **やまいし** TEL 23-0397
&ギフト 本町2(新光商店街) FAX 23-3158

'95春のご婚礼衣裳展

(跨線橋協) 1月21日(土)~23日(月) 丸伝展示場

Bridal Salon **丸伝**

新津市 本町一丁目 ☎(24)3355(代) 新潟市 古町九番町 ☎025(228)5881

誰にも聞けなかった

お葬式(法事)のしきたり

遺族側も会葬者もこれで安心

相談 月~金昼専用 ☎24-7613



紫雲殿

浴室完備 椅子席130席完備

モニターテレビ完備

新津市東町1丁目

☎(24)8330 FAX (24)9236